

令和3年度 町内会活性化講座(相談会) 結果概要

相談テーマ③ 担い手不足へのアプローチとこれからの交流のあり方

日時:令和4年1月16日(日)15:00~16:30 場所:オンワード樺山仙台ビル10階ホール

●参加した町内会の現状や相談の内容

【若林区】I町内会 (647世帯)

- 町内会の役員は18人。
- 役員の担い手不足解消のため、町内の方々との交流する機会を増やし、その交流の過程で役員になってもらう方を探したいと考えている。
- いも煮会や新年会などの行事もあるが、参加者が限られている。

【宮城野区】J町内会 (200世帯)

- 町内会への関心が薄く、役員の担い手不足である。町内会のことを知ってもらい、関心を高める交流行事などを考えたい。
- 役員を輪番制で回しているが、1年だと短いのではないかと考えている。
- 運動会やグランドゴルフ大会などの行事があるが、参加者は高齢者が多い。

【青葉区】K町内会 (325世帯)

- コロナ禍で行事も滞り、会員と会う機会が減ってしまったことにより、役員の担い手が見つからず高齢化が進んでいる。
- マンネリ化が見られるため、活動内容等を変えていきたいと考えている。

【宮城野区】L町内会

- 住民参加型の町内会にしていきたい。
- ホームページの作成、LINEによる情報共有を行っているが、回覧板が回っていても周知されていないなどの課題がある。



【講師からのアドバイス】担い手不足へのアプローチとこれからの交流のあり方のポイント

○“地域の価値を高める”町内会へ

- 若い世代のアイデアを積極的に取り入れる。普段の清掃活動を楽しめるイベントにする、集会所をカフェにして世代を超えた交流の場を作るなど、新しいことにも挑戦してみる。
- 町内会への参加を通して、「住みたいまち」としての評判が広まることで、地価の上昇や空き家の解消など、住民のメリットにもつながる。

○アンケート調査の実施

- アンケート調査で町内会事業の評価をしてもらう。参加や継続の意向が低いものについては内容や時期の見直しや、事業の廃止を検討し、役員の負担を少しでも軽減する。
- アンケート調査は、アンケート票の設問を答えていく流れの中で、町内会の活動について改めて知ってもらい、課題を理解してもらえらる効果がある。そのうえで、サポーターなどとしての協力を聞くと、より協力の意向を得られやすくなる。